

『部活動の地域移行』に関するアンケート調査の実施結果について

1. 実施目的

本町の部活動地域移行の方向性が具体化してきた中、今後の協議・検討資料とするためのアンケート調査を実施した。令和5年8月、同様のアンケート調査を実施したが、改めて地域移行の初年度（令和8年度）の対象となる児童・生徒のニーズや実態、また、中学校教員の意向や思いを適切に把握することは、本町における中学校部活動の円滑な地域移行につながると思われる。

2. 調査期間

令和6年9月2日（月）～ 9月13日（金）

3. 調査方法

Microsoft Forms によるオンライン回答

4. 調査対象

町内小学校（5、6年生）

町内中学校（1年生）

町内中学校教員

5. 調査結果（回答率、回答者／対象人数）

町内小学校（5、6年生）	… 97.3%（288人／296人）
町内中学校（1年生）	… 92.5%（147人／159人）
町内中学校教員	… 88.0%（44人／50人）

全 体	… 94.9%（479人／505人）
-----	--------------------

6. 結果概要 … 別添のとおり

昨年度と比較すると、小学生は40%、中学生は50%以上回答率が増加し、より信憑性の高い結果が得られたと思われる。

7. 備考：昨年度実績

期 間 令和5年8月9日（水）～8月25日（金）

回答率 小学5、6年生 … 52.6%

その保護者 … 38.8%

中学1、2年生 … 37.2%

その保護者 … 44.3%

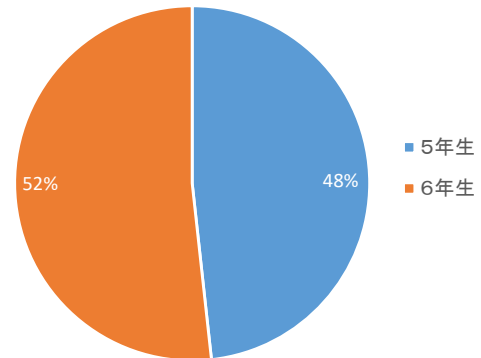
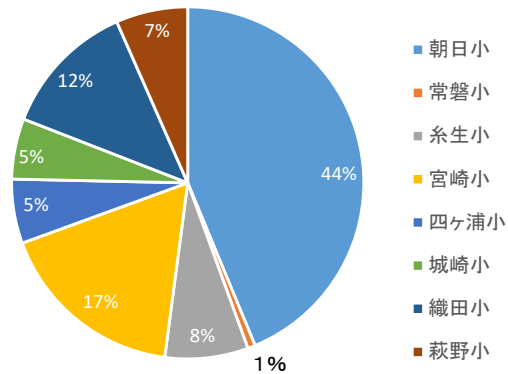
【小学校5年・6年】『部活動の地域移行』に関するアンケート調査

●調査期間：令和6年9月2日(月)～9月13日(金)

●回答率：97.3%(対象人数 296人 ⇒ 回答者 288人)

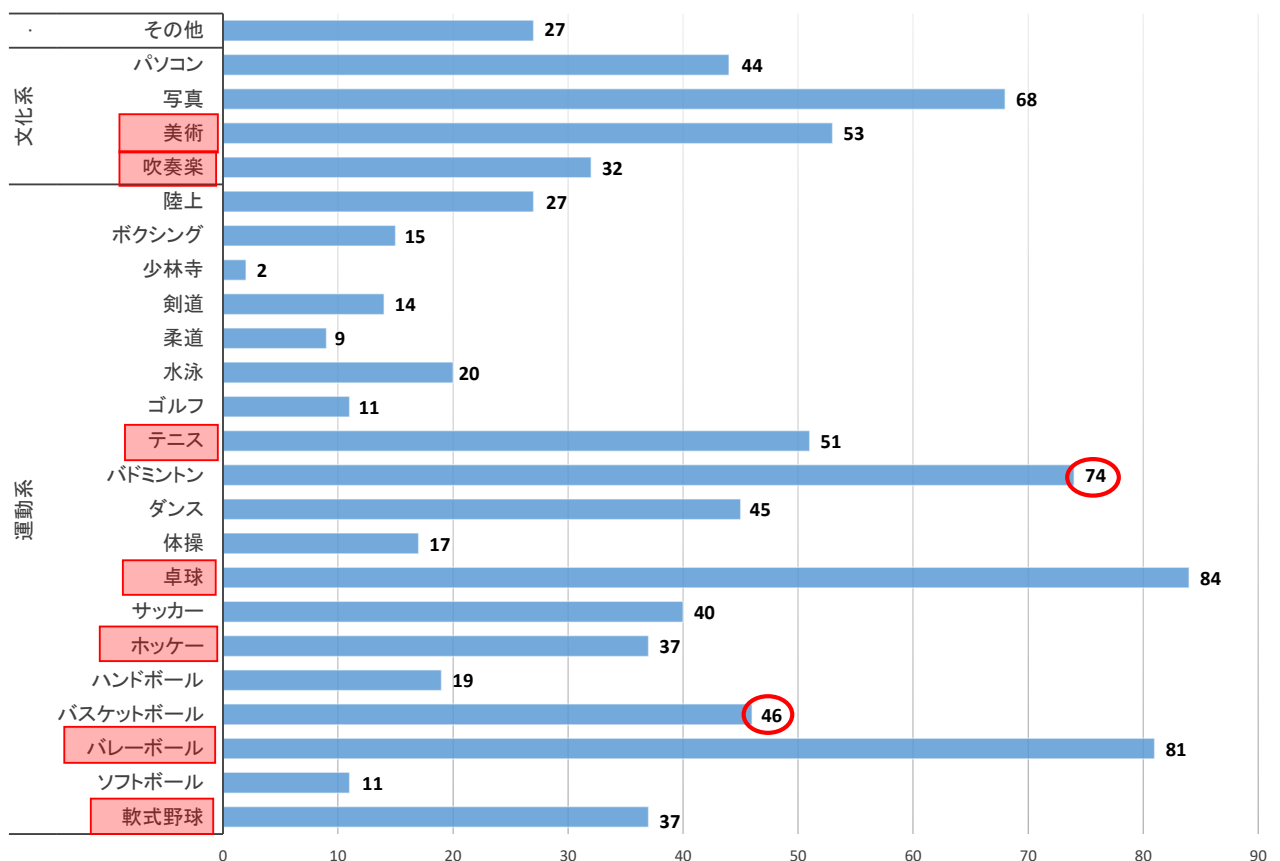
Q1 通っている学校を選んでください。

Q2 学年を選んでください。



Q3 中学生になったら、どのような活動をやってみたいと思いますか。【複数回答可】

※ は、中学校の部活動があるものを指します。



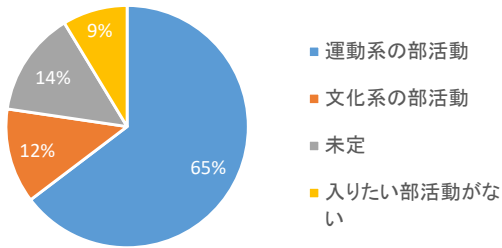
その他の内容

運動系：硬式野球、太鼓、ドッジボール、空手、ボルダリング、合気道
 文科系：書道、調理、クイズ、帰宅、家庭科、茶道、陶芸、キャンプ

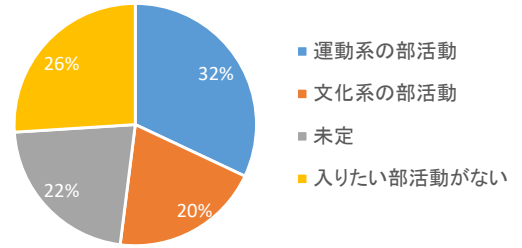
運動部活動に注目すると、希望種目の上位は以下のとおり。
 R6・・・1.卓球 2.バレーボール 3.バドミントン 4.テニス 5.バスケットボール
 (※R5・・・1.バレーボール 2.バドミントン 3.卓球 4.テニス 5.ホッケー (6.バスケットボール))
 学校部活動に無い活動では、「バドミントン」「バスケットボール」が共通して上位に浮上している。

Q4 学区の中学校にある部活動の中で、入りたいと思う部活動を選んでください。

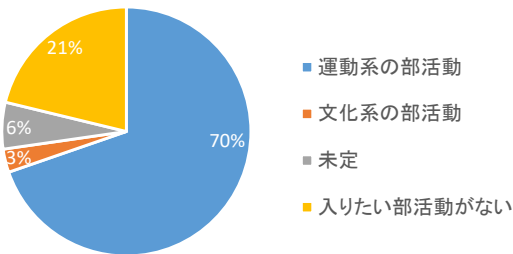
朝日中学校 (対象:朝日小・常磐小:糸生小)



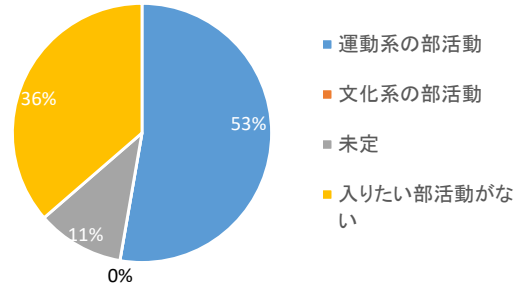
宮崎中学校 (対象:宮崎小)



越前中学校 (対象:四ヶ浦小・城崎小)

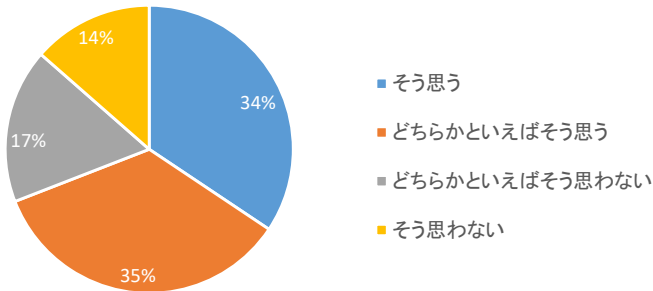


織田中学校 (対象:織田小・萩野小)



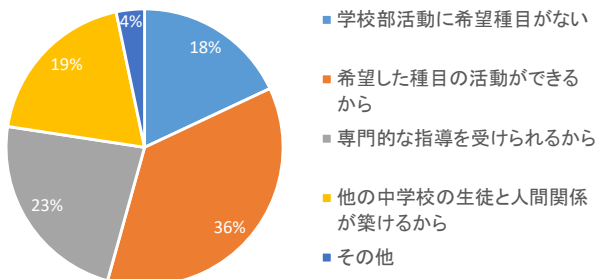
運動部・文化部あわせて、4学区とも5割以上の児童が中学校に入りたい部活動があると答える一方で、朝日中を除く学区の約3割～5割の児童が、「未定」「入りたい部活動がない」としている。生徒数減少による部活動数の減少により、生徒たちのニーズに応えられていないことが伺える。

Q5 自分がやってみみたい種目の活動が地域クラブにあれば入りたいと思いますか。



「やってみみたい種目」があれば、約7割の児童が地域クラブで活動したいという意向を示している。「やってみみたい」ということが前提なので、できる範囲で活動のニーズに応じていく必要がある。

Q6 Q5で(そう思う、どちらかといえばそう思う)と回答した人は理由を選んでください。

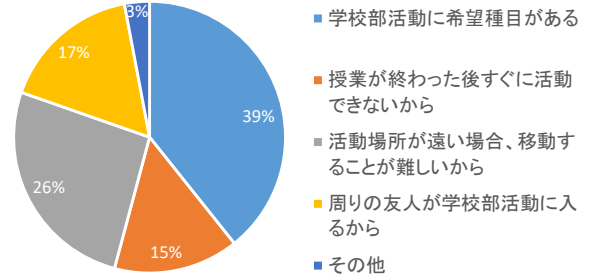


その他の内容

- ・実際、クラブチームに入って活動するから
- ・レベルが高いところでやりたいから
- ・そこから高校や大学に行けるから
- ・自分が好きなことだとやる気が出るし楽しい
- ・楽しそうだから
- ・入りたいクラブがあるから
- ・クラブに入ると強くなるから
- ・自分がやってみたいと思う

学校部活動に希望種目がない ⇒ 希望した種目の活動ができることに期待を寄せていることが伺える。また、専門的な指導を受けて技術向上が目指せること、他中学校の生徒と仲良くなることもほぼ同割合で期待を寄せている。

Q7 Q5で(どちらかといえばそう思わない、そう思わない)と回答した人は理由を選んでください。



その他の内容

- ・休日に行きたくないから
- ・今やっている習い事があるから
- ・そんなに運動したくないから

学校部活動に希望種目があることから、わざわざ地域クラブに参加したいと思わない割合が4割を占めている。移動手段などの負担的な問題で参加したいと思わない割合も目立つ。

部活動、クラブ活動について、意見があれば自由に書いてください。

部活動を増やしてほしいです。

レベルの高い野球をしたいから。

楽しくやりたい

木曜日を金曜日にして欲しい

個人的な願いですけど 月、水、金に活動してくれませんか(火、木に塾があるから)

自分たちで部活やクラブを作ることはできませんか？

他に習っている習い事とひにちがかぶったらどうするんですか

みんなで楽しくしたい

どうゆう感じに教えてくれるか

土曜日の部活は、なくてもいいと思います。少しでも休みがほしいです。

部活動の選択肢が少ないと思う。

吹奏楽部についてで、走ったりしないと聞いているので走ったりもしたいなと思います。

いっぱい運動したい

みんなと仲良くしていきたい

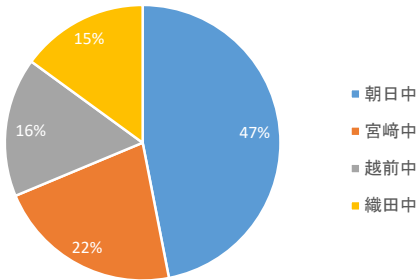
宮崎中学校にテニスコートがあるのになぜテニス部がないのか

うまくなって試合で勝ちたいから。

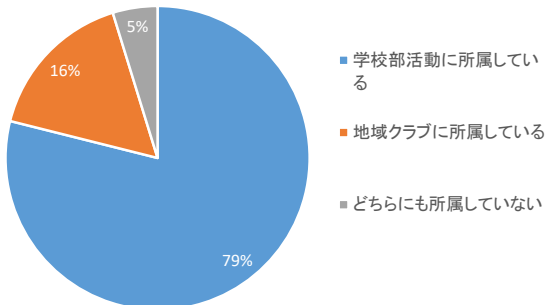
【中学校1年】『部活動の地域移行』に関するアンケート調査

- 調査期間：令和6年9月2日(月)～9月13日(金)
- 回答率：92.5%(対象人数159人 ⇒ 回答者147人)

Q1 通っている学校を選んでください。

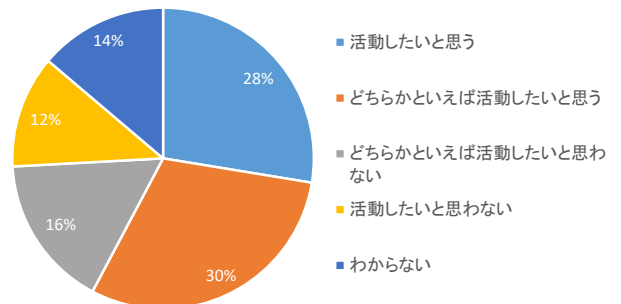


Q2 現在、休日の活動について、所属している学校部活動または地域クラブについてお答えください。



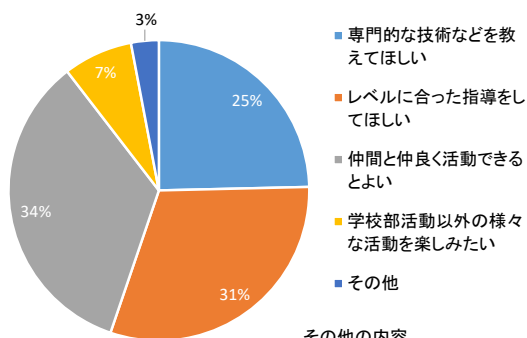
部活動の所属割合が8割を占める。
中学校部活動の加入については、全員参加制を推奨していることに起因すると思われる。

Q3 Q2で(学校部活動に所属している)と回答した方で、休日の部活動が地域クラブに移行する場合、参加して活動したいと思いませんか。



「どちらかといえば」を含め、学校部活動が地域クラブに移行しても約6割の生徒が「活動したい」と思っているようである。

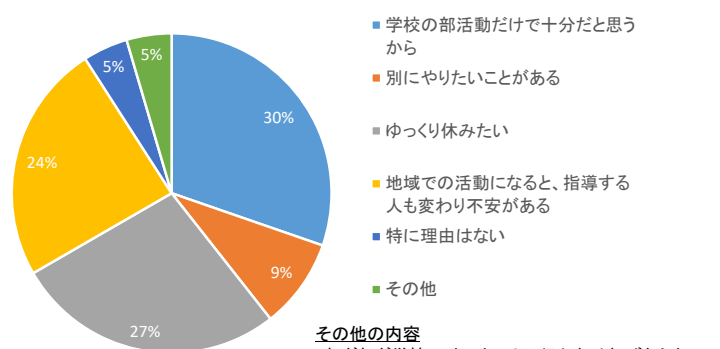
Q4 Q3で(活動したいと思う・どちらかといえば活動したいと思う)と回答した方で、休日の地域クラブに期待することはありますか？



その他の内容
・いろんな相手と戦える
・基礎など細かく教えてほしい

専門的な技術、レベルに合った指導など、指導者に対して期待を寄せる割合が5～6割を占める。
また、仲間たちと楽しんで仲良く活動できることも重視しているようである。

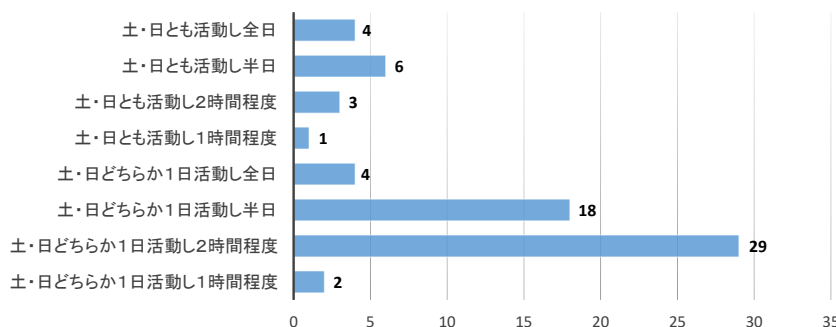
Q5 Q3で(どちらかといえば活動したいと思わない・活動したいと思わない)と回答した方は、その理由を教えてください。



その他の内容
・わざわざ学校以外のところに行かなければならない
・お金がかかる
・今の部活動のみなどと別れるかもしれないから

「学校部活動だけで十分だ」ということを筆頭に、「別にやりたいことがある」「ゆっくり休みたい」など、プライベートを重視するような回答の割合が高い。
Q4の結果とは対照的に、学校から地域に移行することで、指導者との関わりに不安を持つ生徒も多いようである。

Q6 土日の部活動を地域クラブが担う場合の活動時間はどのくらいがよいと思いますか。



土日どちらか1日、2時間～半日程度が妥当な時間帯であると望む声の大半を占めている。

部活動、クラブ活動について、意見があれば自由に書いてください。

細かい基礎なども教えてほしい

したい人だけ地域の部活をやればよいと思う

部活動の時間を長くしてほしい

部活が学校でよかったのに別のところへ行かなければならなくなるから先生は、いいかもしれないけど私たちが大変になるからです。

仲間と仲良く活動がしたい

自分のしたいことができればいい

部活が楽しいから

もう少し厳しくしたほうがよいと思います

もっと部活の内容が増えると嬉しい、ダンス部など。もし、新しい部活が増えたら入りたい。

練習試合をするとういとおもう

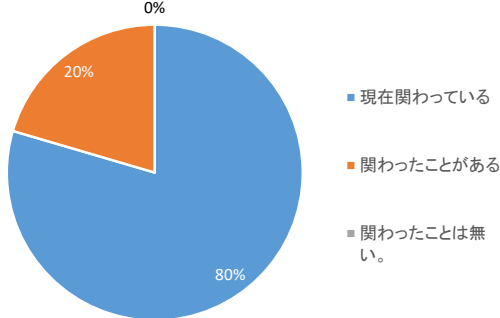
2年生の時から多分クラブ活動になると思う「人数が足りなくて」

優しい人に教えてもらいたいです

【中学校教員】『部活動の地域移行』に関するアンケート調査

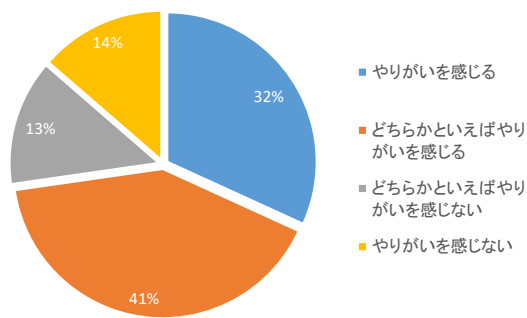
●調査期間：令和6年9月2日(月)～9月13日(金)
●回答率：88.0%(対象人数50人⇒回答者44人)

Q1 学校部活動の指導に関わったことがありますか？
過去、現在の状況について教えてください。



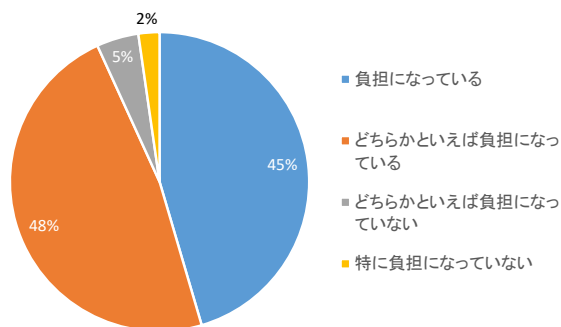
現在、過去を含めて、10割の教員が部活動指導に関わった実績がある。

Q2 Q1で(関わっている・関わったことがある)と回答した方は、
学校部活動の指導にやりがいを感じていますか？



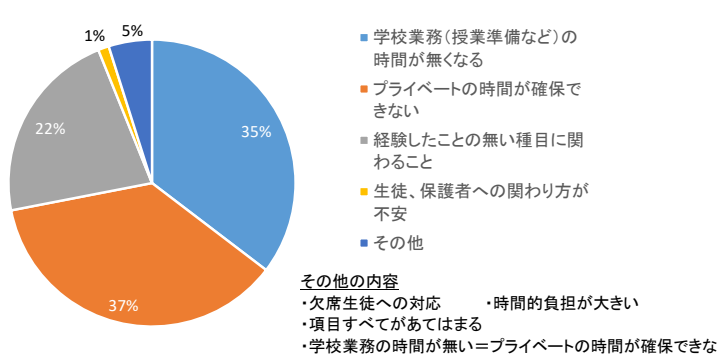
「どちらかといえば」を含め、7割以上の教員が部活動の指導にやりがいを感じているようである。

Q3 Q2に回答した方は、学校部活動の指導について、
日々の業務の負担になっていますか？



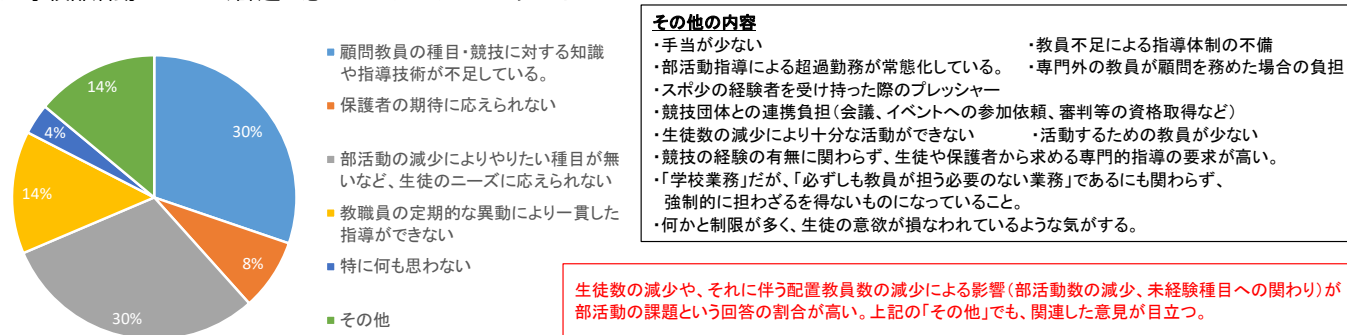
「どちらかといえば」を含め、9割の教員が部活動の指導に負担を感じている。

Q4 Q3で(負担になっている・どちらかといえば負担になっている)と
回答した方は、どのようなことが負担になっていますか？



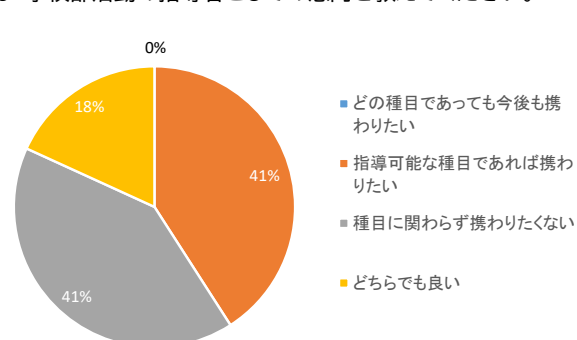
授業準備などの学校業務や、プライベートへの時間が確保できないなど、7割以上の教員が時間的な負担を感じている。続いて、未経験種目への指導にも負担を感じている。

Q5 学校部活動について、課題に思うことなどはありますか？



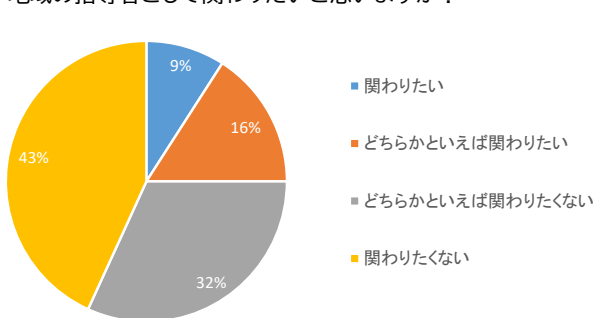
生徒数の減少や、それに伴う配置教員数の減少による影響(部活動数の減少、未経験種目への関わり)が部活動の課題という回答の割合が高い。上記の「その他」でも、関連した意見が目立つ。

Q6 学校部活動の指導者としての意向を教えてください。



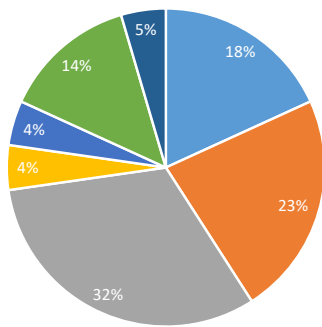
必ずしも部活動に関わりたくない、というわけではなく、「指導可能な種目」であれば、4割の教員は携わりたい、と思っている。一方で、負担や課題に思っていることなども関連して、種目に関わらず、学校部活動に関わりたくないという意向が4割を占める。

Q7 休日の学校活動が地域に移行された際、兼職兼業の手続きを踏まえ、
地域の指導者として関わりたいと思いますか？



兼職兼業の手続きを踏まえてまで、地域の指導者として携わりたくない、という割合が大半を占めている。休日出勤となることから時間的拘束が生まれることが、理由の一つかと思われる。

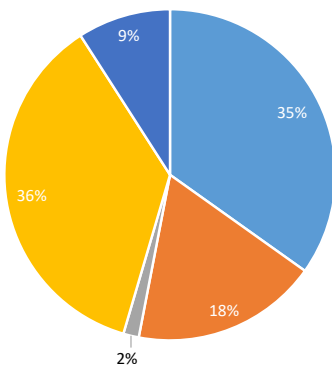
Q8 Q4で(関わりたい・どちらかといえば関わりたい)と回答した方は、その理由を教えてください。



- 生徒の成長した姿を見たいから
 - 指導することが楽しいから
 - 自分の指導可能な種目だから
 - 学校とは違う生徒の側面が見たいから
 - 学校教育業務外に活動することで心身のリフレッシュになるから
 - 学業以外のこと(社会性や協調性など)を身につけさせていから
 - その他
- その他の内容**
・やりたいことを実現させるため

「指導可能な種目」であったり、指導すること自体にやりがいを感じていることが、関わりたい理由としては大きいようである。

Q9 Q4で(どちらかといえば関わりたくない・関わりたくない)と回答した方は、その理由を教えてください。

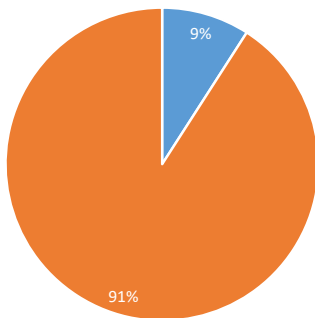


- 業務多忙化を解消させたいから
- 専門的な指導ができないから
- 生徒や保護者などの人間関係が不安だから
- プライベートの時間を充実させたいから
- その他

その他の内容
 ・地域移行に係り、教員のマンパワーをあてにしているのは、教職員の働き方改革につながるものではないから。
 ・「学校業務」だが、必ずしも教師が担う必要のない業務でもあるにも関わらず、「勤務時間外」に「強いられて」受け持つものだから。
 ・専門性もなく、時間外でやる気がない教員にとっても、また、そのような教員に指導されることも可哀想だから。
 ・野球など、ある程度の人数がいないと活動できない種目の場合、町内でまとまる必要があると考えられるが、その準備ができておらず、そこに関わるのは難しい。

「業務多忙化の解消」や「プライベートの時間確保」など、主に時間的な拘束から抜け出したいという教員が7割を占め、部活動指導に係る負担がいかに大きいか感じられる。

Q10 地域の指導者としてなり得る方(友人、教職員OB、その他経験者)に心あたりがありますか？



- 心あたりがある
- 心当たりがない

部活動、クラブ活動、地域移行について、気になることなどがあれば自由に記述してください。
将来的には平日も地域移行なら、また、休日に教職員が勤務校のまたはそれ以外の地域の(住所のある?)クラブを指導するなら、平日も学校での活動時間を合わせる必要もなく自由に活動させるほうが自然である。好きな指導者・生徒でやればよいのでは。 他地域に行くのは当然保護者の責任で、自転車でも・・・。 移行期間は、鯖江などのやり方も一例になると思うが
休日だけ移行することは、かえって教職員の負担を増すことにならないか心配である。
地域移行について、指導者と生徒の間を中途半端に学校が取り持つような形にならないか心配
移行の進捗
部活動では平日の活動が17:30までで行っているが、地域移行になった場合、開始時間が指導者が携われる時間、選手が学校を終えて集まれる時間になり、終了時間が遅くなったり、現在ある地域クラブのように活動時間が長かったりして、選手の疲労が蓄積されないか。 家庭学習の時間、食事の時間、睡眠時間に影響。現在のクラブ所属の生徒や学習塾に通っている生徒をみるとそのような生徒がいる。
現状では地域の指導者も負担が大きいため引き受けが難しいと思う。 土日の地域移行と同時進行で平日の活動時間や規模の更なる縮小をすすめていかなければならない。
指導者には、指導料金が支払われるのでしょうか。 支払われるのなら県の最低賃金以上の金額があたるといいです。
他都道府県がすでに実施しているので、すすべきだと思う。
・地域移行が進むと指導は教員の手から離れるが、中体連の大会運営は教員が引き続きするのか。 ・平日に行われる中体連の大会の引率は誰がするのか。 ・平日の地域移行が進むのはいつになるのか。
大会時の審判等も負担なので、地域移行を速く進めて専門的な知識・技能がある方にしていきたいです
地域移行にともない、クラブチームが地区大会や県大会に参加可能になってきました。 今後完全に大会も各協会が運営していくのだと思いますが、現在は教員が運営しています。 クラブ指導者も運営に携わるような形をとらなければ、先生の負担は変わらないのではと感じています。
学校と部活動を切り離すのであれば、徹底して切り離れたほうがよい。 地域指導者との連絡・調整、練習試合の調整、大会エントリーなどの事務作業は学校が行うとなると、業務多忙化の解消にはつながらない。
部活動がなくなることで下校後の生徒同士のトラブルが増えそうだと予測する
休日のみの以降になった際、平日の教員の負担は減らないまま、1番大事な大会などは外部の指導者が指揮をとることになると、教員は何をモチベーションに平日の部活動を見れば良いのかわからなくなっていくおそれがあると思います。 移行するなら全面移行が結果的に必用になると思われますし、私としては部活動も学校教育の一環として必用なものだと実感しているため、むしろ教員が部活動を見たいと思えるくらい心の余白を持てるような、部活動以外での業務改善の方が必用だと思います。
学校での部活と地域のクラブの両立方法について。
教員が勤務時間を超えて指導するのが当たり前という前提を考え直すべきだと思います。
地域や家庭によって活動の不平等性が大きくなるようにしてほしい
教員の勤務時間外での子どもたちの活動は、地域のクラブチームで行うべき
学校で部活動の指導をすること自体は、生徒にとって学校生活に良い影響を及ぼす部分が確実にある。 一方でクラブチームなどに入っている生徒は、部活動の指導を受けている生徒が身に付けている部分が身に付けられていないように感じる事がある。 働き方改革の面や経験の無い競技の指導をすることの問題はあると思うが、果たして部活動の地域移行をすることですべて解決するのか。 理想を言えば教員の出勤の仕方を工夫したり人員を調整したりして、授業を中心とする教員と、部活動などの指導もする教員がいてもいいのではないかと思う。
指導者や地域の差が生じやすくなる点が心配です。
今後地域クラブを運営する上で必要な資格取得を考えていますが、費用が3万5千円と高額なため、一部負担していただけるようにしてほしい。
部活動の地域移行は業務改善につながらない。 また、地域移行することで、生徒指導がどんどん難しくなるのではと危惧している。
上にも書いたが、種目によっては、町内の各学校で考えても難しい問題がある。
今の何も進んでいないこの状況で本当に地域移行ができるのかが不安